

語り継ぐ

「阪神淡路大震災」の記憶

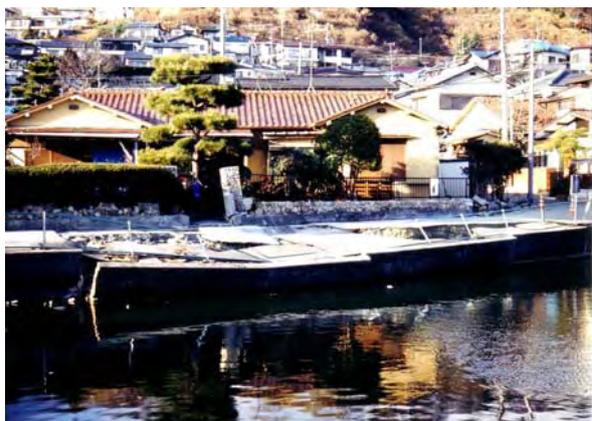
鎮魂之碑

宝塚市



市内の被災状況写真

川面・栄町周辺



清荒神 4 丁目



川面 4 丁目



紅葉ガ丘



清荒神参道



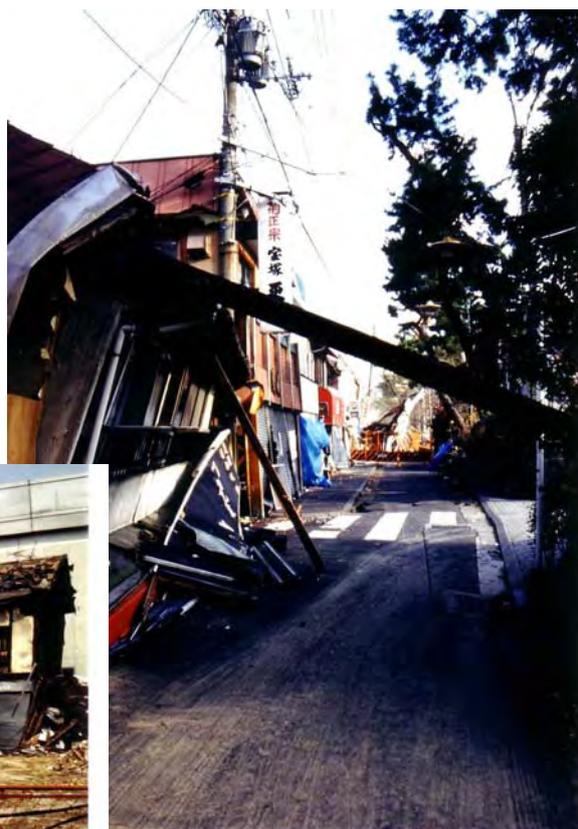
清荒神 1 丁目

市内の被災状況写真

川面・栄町周辺



栄町1丁目宝塚ファミリーランド



栄町1丁目花のみち周辺



栄町1丁目花のみち周辺の解体作業



栄町1丁目 脱線し傾いた阪急電車

市内の被災状況写真

売布・小浜周辺

壊れた中国自動車道の橋脚と復旧工事 売布3丁目



自衛隊による家屋解体 売布2丁目



陥没した道路 売布4丁目



けたが落ちた歩道橋 売布3丁目



倒れた電柱 売布4丁目



市内の被災状況写真

売布・小浜周辺

阪急売布神社駅前 売布2丁目



倒れた豪撰寺の門 小浜5丁目



小浜地区では歴史を伝える「町家」の多くが全半壊となりました



市内の被災状況写真

中山寺の被害



中山寺周辺



中山寺3丁目の水道管破損



中山寺3丁目の住宅被害



市内の被災状況写真

中山寺周辺



マンション被害 中山寺1丁目



市内の被災状況写真

山本・中筋周辺

地震による地割れ 山本東2丁目



地震による家屋倒壊 山本東2丁



大きな被害を受け解体される長尾中学校の校舎 長尾町



市内の被災状況写真

山本・中筋周辺



震度 7 を記録した J R 中山寺駅北側の被害 中筋 3、4 丁目



中筋 2 丁目の八幡神社。国指定重要文化財の本殿が倒壊



宝塚市震災ドキュメント（地震発生から1年）

あの日・あの時

1月	
17(火)	<p>☆午前5時46分、マグニチュード7.3の地震発生</p> <p>5:58 消防本部「災害対策式本部」設置</p> <p>5:59 高司5丁目と中山寺1丁目で火災発生</p> <p>6:00 市災害対策本部を市役所G階に設置</p> <p>6:13 大阪管区气象台が「神戸震度6(烈震)」と発表</p> <p>7:00 兵庫県が災害対策本部を設置</p> <p>8:00 水道局対策本部設置。水道業者に緊急出動を要請</p> <p>9:00 水道施設災害復旧開始（水道業者9班35人）</p> <p>9:20 市長登庁</p> <p>少年自然の家が被災者用おにぎり作り開始（毎日2000個）、毛布2000枚搬出</p> <p>9:30 犠牲者を市立体育館に搬送する班を編成し、行動に着手</p> <p>9:35 市立スポーツセンターで救護所開設（2/10まで）</p> <p>9:50 避難所（学校等）開設とその誘導、4班体制広報車でガス漏れと火気厳禁広報</p> <p>10:00 兵庫県知事が自衛隊に出動要請</p> <p>市長が陸上自衛隊第36普通科連隊に水と食糧の供給を要請</p> <p>市立国際・文化センターに外国人対象の被災生活相談を設置。電話受付のみ（3/31まで）</p> <p>10:04 政府が災害対策基本法に基づき、「非常災害対策本部」を設置（閣議決定）、初会合</p> <p>11:00 気象庁が「平成7年（1995年）兵庫県南部地震」と命名</p> <p>11:18 芦屋市へ消防車1台応援出動</p> <p>11:33 南雲雀ガ丘で建物火災</p> <p>12:50 市再が対策本部会議初会合（17日は4回開催）</p> <p>13:00 クリーンセンターが生活ごみの作業業務再開</p> <p>13:17 清荒神2丁目で建物火災</p> <p>◎災害救助法適用</p> <p>◎当日宝塚市の被害発表</p> <p>死者77名、負傷者406名</p> <p>火災4件、救急65件、救助46件</p> <p>119番受信件数1,400件</p> <p>◎芦屋市へ消防隊1台4人、西宮市へ消防隊3台11名、救急隊1台3名、消防団1台5名が応援出動</p>
18(水)	<p>◎避難所に仮設トイレの設置開始（延べ27箇所43基）</p> <p>◎阪急宝塚線雲雀丘花屋敷一梅田間始発から開通</p> <p>◎財務部職員が被害状況調査を開始</p> <p>◎自衛隊の炊き出し隊、給水隊が支援開始（市立駐車場）</p> <p>午前中だけで18,000食のおにぎり</p> <p>◎全国から給水応援隊到着（2/7まで）</p> <p>◎救援物資の受入が始まる</p> <p>◎総合福祉センター、老人ホーム福寿荘、西谷小学校、市役所食堂おにぎり作り（4万個/1日）</p> <p>◎火葬申し込み受付開始、火葬場へ遺体搬送（5班15名）</p> <p>◎倒壊家屋の災害廃棄物の仮置き場として武庫川河川敷を確保、搬入開始</p> <p>◎避難者数が最大に(1万5,945人)</p> <p>◎死者79名</p> <p>◎火災0件、救急40(11)件、救助3(2)件（※（）は地震災害）</p> <p>◎119番受信件数285回、芦屋市へ消防隊1台4名、消防団3台14名が応援出動</p>



地震発生震度7の激震 1/17



市災害対策本部



自衛隊による炊き出し



全国から救援物資が届く

宝塚市震災ドキュメント（地震発生から1年）

あの日・あの時

19(木)	<ul style="list-style-type: none"> ◎市職員が第1次建築物応急危険度判定調査を開始 ◎阪急宝塚線始発から全線開通 ◎J R宝塚線午後から全線開通 ◎見舞金(小切手)を受領(第1号) ◎死者 80 名 ◎芦屋市へ救急隊 1 台 3 名、救助隊 1 台 4 名、消防団 7 台 32 名が応援出動
20(金)	<ul style="list-style-type: none"> ◎市議会が災害対策特別委員会を設置、第1回委員会開催 ◎災害見舞金の受け入れ銀行口座を開設 ◎気象庁が震度を当初発表の6→7に修正 ◎火葬件数が最高に(26 遺体) ◎医療応援チームによる避難所巡回診療開始（～1/29） ◎宝塚市長選立候補届出書類等予備審査 ◎芦屋市へ救急隊 1 台 3 名、救助隊 1 台 4 名、消防団 4 台 16 名が応援活動
21(土)	<ul style="list-style-type: none"> ◎市立 11 幼稚園、19 小学校、11 中学校で授業再開 ◎市庁舎GFにボランティア本部を設置（～2/28） ◎逆瀬台6丁目に避難勧告（73 世帯 242 名） ◎避難物資を各小学校で市民に配布 ◎J R宝塚線が全線開通 ◎芦屋市へ救急隊 1 台 3 名、救助隊 1 台 4 名、消防団 3 台 9 名が応援出動
22(日)	<ul style="list-style-type: none"> ◎1次仮設住宅入居者を募集（151 戸） ◎紅葉ガ丘に避難勧告（87 世帯 242 名） ◎市長選挙告示。正司市長の2期目が無投票当選で決まる。 ◎市内ゴルフ場の「風呂開放」始まる ◎家屋の被害状況（集計－災害対策本部発表） 全壊 1,339 件、半壊その他 3,718 件 ◎宝塚保健所による避難所巡回健康相談開始（～2/24）
23(月)	<ul style="list-style-type: none"> ◎市議会が第2回災害対策特別委員会開催 ◎川面長尾山で倒壊家屋等廃材を野焼き ◎被災者証明書の発行開始
24(火)	<ul style="list-style-type: none"> ◎政府は、激甚災害指定を閣議決定 ◎県救護所を市内5箇所の避難所に設置 ◎救護所を拠点とした医療派遣チームによる避難所巡回診療開始（～2/5）
25(水)	<ul style="list-style-type: none"> ◎共同住宅対象に第2次建築物応急危険度調査を開始（～2/3） ◎市役所市民ホール横のピロティに特設浴場を設置（2 人用浴室 12 基、1 人用シャワー室 20 基。1/29(日)から共用開始 AM10:00～PM9:00.無料。（～3/24） ◎午後11時16分震度4（M4.7）の余震発生 ◎武庫川河川敷で倒壊家屋等廃材を野焼き ◎戸建住宅の応急危険度調査の申込受付窓口を市役所G階に設置市、地元建築士事務所協会等の協力により、調査希望者に対して実施（～2/10） ◎中央図書館が被災受験者のために学習室を開放
26(木)	<ul style="list-style-type: none"> ◎広報たからづか臨時号を発行9万5000部 ◎政府が24年ぶりに防災基本計画を大幅見直し決定



避難所美座小学校 1/20



大型ヘリで救援物資が届く 1/20



仁川小学校での給水

宝塚市震災ドキュメント（地震発生から1年）

あの日・あの時

27(金)	<ul style="list-style-type: none"> ◎逆瀬台6丁目の避難勧告を一部解除 ◎日本赤十字の生活福祉資金特別貸付の受付開始 ◎中国自動車道が全線開通（一部対面通行、速度規制）したが、上下線とも大渋滞 ◎市国際交流協会が、外国人向けに震災情報の発行をはじめ。 (日、英、中、西語) 計4号発行（～2/18）
28(土)	<ul style="list-style-type: none"> ◎災害見舞金の受入郵便局口座を開設(大阪貯金事務センター) ◎芦屋市へ消防団3台14名が応援活動、この日で応援終了
29(日)	<ul style="list-style-type: none"> ◎市内の自治会と避難所に「地震による倒壊家屋の処理について」を配布
30(月)	<ul style="list-style-type: none"> ◎避難所54箇所受信機を設置、放送ボランティアが防災無線で避難所へ情報提供を開始（～2/28） ◎宝塚音楽学校授業再開 ◎阪急今津線宝塚-仁川間が始発から開通 ◎災害見舞金の受入郵便口座を開設 ◎中学校給食再開 ◎自治会などへの「災害関連情報」紙の配布開始 ◎地域児童育成会が21小学校で再開 ◎市長選挙当選者、正司泰一郎氏に当選証書を付与
31(火)	<ul style="list-style-type: none"> ◎家屋の公費解体受付開始（3階大会議室、この日1700人） ◎1次仮設住宅抽選発表（151戸） ◎国際姉妹都市ウィーン市第9区より励ましのチョコレート730キロが届く(西宮市と折半)



市役所市民ホールは
救援物資でいっぱい



ウィーンよりチョコレート届く

宝塚市震災ドキュメント

(平成7年1月17日から1年)

あの日・あの時

2月	
1(水)	<ul style="list-style-type: none"> ◎市議会運営委員会、第4回災害対策特別委員会を開催 ◎市復興本部を設置、第1回震災復興本部会議を開催 ◎小学校給食を再開(当面、パンと牛乳の簡易給食) ◎紅葉ガ丘の避難勧告を一部解除(16世帯44名) ◎市立少年自然の家が無料で浴場を開放
2(木)	<ul style="list-style-type: none"> ◎上下水道料金1カ月分減額を発表 ◎被災者証明発行のため全国各自治体から応援職員が市役所に ◎宝塚歌劇団雪組の名奈あきさんが、防災無線で避難所54箇所に生活情報の放送ボランティア ◎宝塚歌劇団が、名古屋中日劇場の星組公演から再始動
3(金)	<ul style="list-style-type: none"> ◎陸上自衛隊第7後方支援連隊(北海道千歳市)が武庫川河川敷に野営風呂設置(「千歳湯」。奇数日男性、偶数日女性利用) ◎避難所で節分の豆まき(スポーツセンター)
4(土)	◎高齢者に対するインフルエンザ予防接種開始(～2/8)
5(日)	<ul style="list-style-type: none"> ◎阪急今津線が始発から全線開通 ◎日本社会福祉会の専門職ボランティアが80歳以上の高齢者の戸別訪問調査を開始。仮設住宅への支援を含めて3月末まで延べ864人が活動) ◎兵庫県災害対策本部から県内の負傷者数を発表 総数3万2,827人うち宝塚市1,100人
6(月)	<ul style="list-style-type: none"> ◎1次仮設住宅の入居開始 ◎日本赤十字の義援金支給を開始(この日だけで676人が受給) ◎宝塚警察署と西谷地域ふれあいの会が避難所となっている良元小学校体育館に畳を寄付 ◎市災害対策本部は衣料を一括してソリオホールで配布開始(～28日)
7(火)	<ul style="list-style-type: none"> ◎自衛隊による家屋解体始まる(～4/15 延べ6,134人出動) ◎被災者証明書の発行を巡り午前中だけに1000人を超える被災者が殺到、午前中で打ち切り ◎気象庁が「震度7」(激震)の適用地域に新たに9地域を適用すると発表(JR宝塚駅、中山寺駅の各東側等) ◎水道断水世帯が500戸まで回復、仮復旧完了を宣言
8(水)	<ul style="list-style-type: none"> ◎2次仮設住宅入居者を募集(795戸、～11日) ◎重点復興地区、建築制限区域を指定 ◎第2回震災復興本部会議を開催。「復興基本方針」を発表 ◎グリーンセンターが風呂を開設
9(木)	<ul style="list-style-type: none"> ◎建築基準法第84条第1項の規定に基づき、仁川駅前地区、売布神社駅前地区、宝塚駅前において建築制限を指定(～2/17) ◎阪急バス逆瀬台線運行開始 ◎大きな被害を受けた米谷保育所の建替え決定
10(金)	<ul style="list-style-type: none"> ◎大きな被害を受けた長尾中学校、宝塚第一中学校、宝塚小学校の校舎解体決定 ◎市議会が第5回災害対策特別委員会を開催
11(土)	◎兵庫県都市再生戦略策定懇話会がスタート(災害救助法が適用された10市10町の首長が参加)
12(日)	<ul style="list-style-type: none"> ◎逆瀬台6丁目の避難勧告を前面解除(64世帯、212名) ◎家屋解体費用の単価を決定
13(月)	◎中小企業振興事業災害特別資金、小規模企業振興災害特別資金の受付開始(～7/14)
14(火)	<ul style="list-style-type: none"> ◎政府が震災の呼称を「阪神・淡路大震災」に閣議決定 ◎紅葉ガ丘の避難勧告を一部解除



避難所での炊出し
(宝塚第一小学校) 2/3



自衛隊野営風呂設置
(武庫川河川敷) 2/3



自衛隊による家屋解体始まる。(売布2丁目) 2/7

宝塚市震災ドキュメント

(平成7年1月17日から1年)

あの日・あの時

	◎山口県阿部郡むつみ村から炊出し隊が第1隣保館へ ◎宝塚ファミリーランド内小林一三生家の解体始まる
15(水)	◎重点復興3地区の市街地再開発計画発表 ◎災害弔慰金、災害障害見舞金、災害義援金の支給及び災害援護資金、中小企業災害特別融資の貸付受付開始 ◎県が臨時災害FM「FMフェニックス」の放送開始
16(木)	◎恩地早苗(マンドリン奏者)さん総合福祉センターで慰問演奏 ◎長野県下高井郡山ノ内町(湯田中・渋温泉)から自衛隊の野営風呂に温泉の湯が届けられる ◎重点復興地区(売布神社駅前)地元説明会 ◎避難所の環境などの調査を実施
17(金)	◎震災1カ月目 正午に黙祷 ◎宝塚朝鮮初級学校授業再開 ◎西図書館、図書館中山台分室が再開 ◎重点復興地区(仁川駅前)第1回地元説明会
18(土)	◎野坂浩賢建設大臣、井出正一厚生大臣が市内を視察 ◎宝塚中学校で「元気をとりもどそうスポーツの集い」 ◎重点復興地区(花のみち周辺)第1回地元説明会
19(日)	◎東京の中学生から高司小学校に見舞いの学用品届く
20(月)	◎小里貞利地震対策担当大臣が市内を視察 ◎国際姉妹都市オーガスタから見舞いのおもちゃ届く ◎ソリオ2で確定申告の受付始まる
23(木)	◎紅葉が丘の避難勧告全面解除(28世帯、79人) ◎市内42箇所ある避難所を4月末をめどに1箇所に統合する方針を決める。 ◎平成7年度当初予算発表(1110億2800万円) ◎平成6年度補正予算発表(209億8700万円)
24(金)	◎市内の水道が全戸仮復旧。応急復旧工事も完了 ◎家屋調査の応援を一般企業37社に要請 ◎雲仙観光協会から見舞金届けられる ◎第3回震災復興本部会議開催。「震災復興緊急整備条例案」まとまる。
25(土)	◎逆瀬台と青葉台の地盤調査を決定
26(日)	◎西宮市、芦屋市で合同慰霊祭 ◎武庫川河川敷「地震に負けるなドッジボール&炊出し大会」 ◎2次仮設住宅入居者の抽選 ◎中央図書館が再開館
27(日)	◎市鳥に「ウグイス」「セグロセキレイ」を選定し、市木に「ヤマボウシ」を追加と発表(市制40周年記念事業)
28(火)	◎ボランティア本部解散式(延べ1万200人が活動) ◎2次仮設住宅の抽選発表 ◎飲料水兼用耐震性貯水槽の設置を決定



震災1ヶ月の黙祷 2/17



仮設住宅(高司4丁目)



オーガスタよりおもちゃが届く 2/20



野坂建設大臣視察 2/18



小里地震対策担当大臣視察 2/20



ボランティア本部解散式 2/28

宝塚市震災ドキュメント

(平成7年1月17日から1年)

あの日・あの時

3月	
1(水)	◎税減免のための市内全家屋被害状況調査を開始 ◎手塚治虫記念館が再開館 ◎宝塚ファミリーランド再開 ◎市と市民ボランティアの協力で「炊出しネットワーク」が発足。避難所に温かい食事の提供始まる ◎教育総合センター「心の相談ホットライン」開設 ◎健康センター、中山台コミュニティセンター、教育総合センター、女性センター、老人福祉センターが再開館
2(木)	◎西谷中学校の生徒が被災者のために陶器の皿作り ◎国際文化センターが再開館 ◎小中学校が温かい副食を取り入れた給食を再開
3(金)	◎廃材の野焼きを3月20日をめどに中止を決定 ◎避難所の給食を改善(一人1日850円→1200円)
4(土)	◎手塚治虫記念館で平成6年4月の開館依頼50万人目の入館者 ◎明石市が犠牲者慰霊祭
5(日)	◎宝塚市民会館で合同慰霊祭を開催。皇太子ご夫妻、小里地震対策担当大臣、土井衆議院議長らが弔問。 神戸市、尼崎市でも合同慰霊祭
6(月)	◎2次仮設住宅の入居開始 ◎宝塚市理容組合が避難所13箇所で理容ボランティア
7(火)	◎国税庁が確定申告の期限延長を決定 ◎家屋解体世帯に、家財道具一時保管所を斡旋 ◎阪神・淡路大震災による水道施設等の災害復旧の厚生省、大蔵省による第1次査定
8(水)	◎市議会定例会が開会(市長が施政方針演説) ◎女性センターで震災体験を語り合う「宝塚被災地からの声ー思いっきり語ろう」リレートーク
9(木)	◎「花のみちの街並みを復興させる会」が発足 ◎農林畜産産業被害報告(最終)全市被害総額9億2185万円
10(金)	◎生活保護世帯の住宅応急修理の受付を開始 ◎阪急バス中山台線が阪急中山駅から運行再開
11(土)	◎市長が県の都市再生戦略策定懇話会で「火の鳥」を復興のシンボルにと提案 ◎宝塚消費者協会などが震災に便乗した悪質商法追放の該当キャンペーン
13(月)	◎倒壊家屋廃材の野焼きを全面中止 ◎県南部地震災害義援金募集委員会が義援金の2・3次配分の内容を決定 ◎市立中学校で卒業式
15(水)	◎家財一時仮置き場を無償提供 ◎市都市計画審議会が3地区の再開発計画を承認
16(月)	◎県都市計画審議会が各市の都市計画案を骨格で承認 ◎市長等特別職6人の給料を減額する旨発表(4月から1年間)
17(金)	◎震災復興関連都市計画を決定・変更 ◎県が都市計画決定案を告示 ◎市仏教会が中山寺で追善供養合同法要を開催
18(土)	◎自衛隊の野営風呂が終了。午後1時から武庫川河川敷でお礼を兼ねた終了式を開催。5812人が利用 ◎市立13幼稚園で卒園式
19(日)	◎少年自然の家の風呂開放を終了
20(月)	◎東京地下鉄で猛毒ガスのサリンが発生。10人死亡、約5000人重軽傷



皇太子ご夫妻が避難所を訪問
(市総合体育館) 3/5

宝塚市震災ドキュメント

(平成7年1月17日から1年)

あの日・あの時

23(木)	◎市立 23 小学校で卒業式
24(金)	◎市議会定例会 ◎市役所市民ホール横の特設浴場が終了 1万 6623 人が利用)
25(土)	◎震災によるけが人が 1100 人～2201 人と修正 (重傷 60 人、軽傷 2141 人)
26(日)	◎阪急清荒神周辺約 100 世帯と、同山本駅周辺約 500 世帯でガスが使用可能となり、これで市内のガスが完全復旧 ◎3次仮設住宅入居者を募集(～28日)
27(日)	◎気象庁がNTT宝塚営業所の地下に地震計を設置 ◎スポーツセンター屋外施設の使用再開 ◎「市震災復興緊急整備条例」を公布・施行
28(火)	◎災害弔慰金を間接的震災死にも適用するため「災害弔慰金判定審査会」の設置を決定
29(水)	◎避難所アンケートを実施 ◎第4回震災復興本部会議で復興促進区域に8箇所を指定 ◎須賀川市長が義援金を市長に手渡し
30(木)	◎市議会定例会 ◎NTT宝塚営業所に設置の地震計が稼働開始
31(金)	◎震災復興計画検討委員会を設置 ◎震災復興促進区域と重点復興地区を指定 ◎宝塚大劇場が再開



合同慰霊祭 3/5

宝塚市震災ドキュメント

(平成7年1月17日から1年)

あの日・あの時

4月	
1(土)	◎市の機構改革で都市開発部を都市復興部に名称変更 ◎近畿各自治体から派遣職員が市役所に ◎小浜資料館、少年自然の家、ソリオホール、ベガ・ホール、宝塚市民会館、同分館南口会館、各デイサービスセンターが再開館
3(月)	◎西消防署栄町出張所開所式 ◎市生活道路整備要綱を制定。震災での住宅建替えに合わせ、道路拡幅の用地を買収するための措置（4月3日から適用）
4(火)	◎高齢者・障害者向け
5(水)	◎女性センターでチャリティーコンサート&フリーマーケット
6(木)	◎消防本部が仮設住宅に消火用水と消火器を設置 ◎陸上自衛隊中部方面富山駐屯地自衛隊協力婦人部が特産のチューリップを寄贈（市民ホール入口に設置） ◎大規模仮設住宅(100戸以上)に「ふれあいセンター」の建設を決定。阪神・淡路大震災復興基金から信金拠出、県が7箇所建設 ◎消防庁が「(仮称)緊急消防救助隊の創設を決定」
7(金)	◎手塚治虫記念館が復興支援に鉄腕アトムの面1万枚を配布 ◎市立24小学校、12中学校、養護学校で始業式 ◎避難所アンケート調査の結果判明 432世帯990人から回答。このうち35世帯が住宅確保にめどが立たないと回答
8(土)	◎3次仮設住宅抽選発表。全員が当選。これで仮設住宅の募集が終了 総計 仮設住宅数 36箇所（市外含む） 建設個数 2074戸 ◎地域利用施設「雲雀丘倶楽部」完成、開館式実施
10(月)	◎被災者証明書発行をコンピューター処理化のため一時停止 ◎3次仮設住宅入居開始 ◎市立24小学校（1962人）中学校（2010人）で入学式 ◎市立11幼稚園で入園式 ◎市立看護専門学校で第1回入学式（第1期生52人）
11(火)	◎市立13幼稚園で入園式
12(水)	◎早朝、最大瞬間風速26.3mの突風で、市議会議員選挙のポスター掲示場が多数被害
15(土)	◎がれき解体作業に従事していた陸上自衛隊(約180人)の家屋解体終了式が武庫川河川敷で開催（延べ動員1万570人） ◎土・日曜日の家屋等被害調査を実施 ◎クリーンセンターの風呂を閉鎖（延べ968人が利用）
16(日)	◎市議会議員選挙告示（定数30に35人が立候補）
17(月)	◎避難所を5月21日で閉鎖と発表
18(火)	◎消費者セミナー「震災とくらし」
21(金)	◎県と市が阪神間危険宅地緊急対策会議。パトロールも実施
23(日)	◎市議会議員選挙投票開票 現職26人、新人4人当選 投票総数6万9706人 投票率45.35%過去最低
24(月)	◎義援金募集委員会が義援金の2次配分を決定 ◎第5回震災復興本部会議 ◎スポーツセンターがメインアリーナ、トレーニング室の使用を再開
26(水)	◎阪神・淡路大震災100日目 ◎芦屋市から自衛隊が最終引き揚げ阪神間からすべて撤退 ◎災害弔慰金判定審査会が
28(金)	◎市開発指導要綱の一部緩和を発表 ◎市生活道路整備要綱の制定を発表（5月1日から適用）
29(土)	◎消防本部が仮設受託で消防訓練



自衛隊家屋解体終了式 4/15



宝塚市震災ドキュメント

(平成7年1月17日から1年)

あの日・あの時

5月	
1(月)	◎復興計画に対する市民からの意見募集始まる ◎市議会が議員総会 ◎宝塚地区労働組合協議会が今年のメーデー行事を中止 ◎スポーツセンターの柔道場の使用を再開 ◎生活福祉資金(生活援護資金)の貸出受付 (社会福祉協議会で ~7/31)
2(火)	◎スポーツセンター屋内プールが再開 ◎県統計課が4月1日現在の統計人口を発表。546万6318人で震災後3ヶ月連続の減少
6(土)	◎福岡県から人形劇ボランティアが子供たちを元気付けようと未成幼稚園へ
8(月)	◎避難所調査を開始(仁川小、良元小、高司中、美幸会館、西公民館、売布小、御殿山中、スポーツセンター、総合福祉センター、長尾小、東公民館) ◎商店街等共同仮設店舗設置補助制度を発表(仮設共同店舗の建設費やリース料の3分の1を助成) ◎中央公民館が再開館
9(火)	◎臨時市議会招集告示、市議定会派届け締切り ◎臨時市議会招集告示、市議定会派届出締切り
10(水)	◎復興計画検討委員会「生活福祉部会」「住宅部会」 ◎高司地区工業団地(宝塚テクノタウン)完成竣工式
15(月)	◎義援金2次支給の受付開始 ◎仮設住宅の入れ替え入居(幹旋)など募集
16(火)	◎市議会臨時会 ◎警視庁は、地下鉄サリン事件で、オウム真理教代表麻原彰晃容疑者を殺人、同未遂容疑で逮捕
17(水)	◎市議会臨時会。正副議長など役員決まる。震災復興対策特別委員会を設置 ◎宝塚歌劇団が安寿ミラ・サヨナラショーの収益金から義援金に30万円を寄付
18(木)	◎救援物資の配布を開始 ◎仮設住宅全戸に市費でエアコン設置の方針を発表 ◎宝塚・西宮・芦屋3市長状況。復興対策を国に要望
19(金)	◎ベガホールで「阪神文化の火を消すな!」シンポジウム ◎西谷自治会連合会が都市開発基金に415万余円を寄付
20(土)	◎仮設住宅入居者にアンケート ◎仮設住宅の入れ替え入居などの抽選 ◎ソリオホールで兵庫県臨床衛生検査技師会が「阪神・淡路大震災と臨床検査」をテーマにシンポジウムを開催
21(日)	◎すべての避難所を閉鎖(仁川小、良元小に7世帯23人が残留)
22(月)	◎水害危険予想個所を指定(316件) ◎避難者への食事支給を打ち切り
23(火)	◎家屋調査に参加した企業ボランティアの解散式(32社、延べ約3300人が派遣。約12万件の調査)
25(木)	◎仮設店舗助成制度を適用(阪急売布神社駅南側の阪急ショッピングセンターが設立する共同仮設店舗)
26(金)	◎災害弔慰金判定審査会 新たに8人を認定。市内での震災死亡者が106人
27(土)	◎市と市国際交流協会が共催で「転入外国人等歓迎会」が市国際文化センターで開催 ◎良元小学校に残留の全員(17人)が退出
28(日)	◎宝塚朝市が再開 ◎ロシアのサハリン州北部で大地震発生

宝塚市震災ドキュメント

(平成7年1月17日から1年)

あの日・あの時

29(月)	◎第2次復興計画案を作成 ◎花のみち再開発ビルの設計者を公募型プロポーザル方式で募集 ◎空家となっている市内外4箇所の仮設住宅418戸を県に返還(管理数は1656戸) ◎建物被害を被災証明書発効状況をもとに修正 全壊3800棟、半壊8881棟、計1万2681棟、一部損壊1万2999棟 ◎仁川小学校に残留の4人が退出
30(火)	◎地震の被災者に対する国民健康保険税減免措置を発表
31(水)	◎避難所在留者ゼロに、震災から135日目 ◎地震被害のサハリン州へ救援物資を輸送 ◎第6回震災復興本部会議、第3回震災復興計画検討委員会を開催、第2次復興計画案を作成

宝塚市震災ドキュメント

(平成7年1月17日から1年)

あの日・あの時

6月	
1(木)	◎花のみち再開発ビル設計（公募型プロポーザル方式）の募集を開始 ◎市立口腔保健センターがオープン ◎宝塚市 183 人の人事異動（4月の人事異動は震災復興のための都市復興部拡充が中心だったため、事実上2箇月遅れの定期移動） ◎市議会震災復興対策特別委員会を開催
2(金)	◎県議会議員選挙告示（宝塚市選挙区は定数3に4人が立候補）
3(土)	◎市国際観光協会が今年の花火大会開催を決定
5(月)	◎宝塚市防災会議開催。市地域防災計画見直しを発表 ◎市が建設した大震災向けケア付仮設住宅の入居始まる（光明町2棟14世帯、高松町1棟7世帯分） ◎東、西公民館が再開館
10(土)	◎県議会議員選挙
12(日)	◎阪急神戸線全線開通
13(月)	◎平成7年第3回宝塚市議会(定例会)開会
17(土)	◎倒壊家屋の公費解体を再受付（～19日）
21(水)	◎震災で、借りていた住宅や店舗が倒壊してなくなった場合でも、被災前の借家人と同等の権利を有する者として認定。被災前借家人の権利を保護する目的から、罹災都市借地家臨時処理法の「優先借地権」について所有権（土地・建物）、借地権、借家権と同様に買取することにしたもの
22(木)	◎神戸電鉄が全線開通
23(金)	◎定例市議会が平成7年度一般会計補正予算案などを可決閉会
24(土)	◎県市合同の仮設住宅の全戸聞き取り調査（～27日）
26(月)	◎阪神電鉄全線開通。これで神戸ー大阪間のすべての鉄道が復旧した
27(火)	◎市民フェスティバル協会が今年之宝塚まつり中止を決定 ◎宝塚女性ボードが震災で傷ついた子供たちの「心のケア」などを市長に提言
28(水)	◎市議会震災復興対策特別委員会開催
30(木)	◎第7回震災復興本部会議、第4回震災復興計画検討委員会を開催、目標年次を2005年とする市震災復興計画まとまる

宝塚市震災ドキュメント

(平成7年1月17日から1年)

あの日・あの時

7月	
1(土)	◎厚生省は日本人の平均寿命（平成5年度）が男 76.57 歳、女 82.98 歳と発表
2(日)	◎はんしん自立の家で瀬戸内寂静さんが心のケアで講演（10/8も）
3(月)	◎市立老人保健福祉施設ステップハウス宝塚がオープン
6(木)	◎災害対策本部が大雨による二次災害に注意するよう市内3箇所に応報車で呼び掛け ◎第17回参議院議員通常選挙公示（兵庫選挙区は定数2に7人が立候補）
7(金)	◎野上の仮設住宅（150戸）に住民の交流の場「ふれあいセンター」が市内で初めてオープン
8(土)	◎西公民館でシンポジウム「大災害とマス・メディア」 ◎県は「阪神・淡路大震災復興計画（ひょうごフェニックス計画）」案を決定
11(火)	◎集中豪雨で被害が大きかった新潟県上越市に見舞金を送る ◎中筋JR北震災復興土地区画整理事業関連の都市計画案の都市計画審議会への諮問を見送ることを決定
13(木)	◎市と住宅・都市整備公団が阪急仁川駅前と売布神社駅前の市街地再開発事業に関する基本協定を締結
14(金)	◎「子どもたちの心のケアを考える」をテーマに“たからづかっ子”育成フォーラム‘95をソリオホールで開催
17(月)	◎震災から半年目 ◎震災の2次災害に備え、降雨による避難勧告の基準を定める ◎1/1 推定人口 206,641 人 7/1 同 203,321 人 増減 △ 3,320 人 仮設入居戸数 1,662 戸 全壊 5,920 世帯 半壊 14,079 世帯 死者 106 人 解体家屋申込件数 6,022 件 処理済（6月末） 4,981 件（83%）
19(水)	◎新潟県上越市へ義援金100万円送る。同市は11日～12日の集中豪雨で災害救助法が適用。同市からは震災復旧作業で延べ490人の職員や重機などの派遣を受けた
20(木)	◎「たからづか住宅復興3カ年計画」を定める。
21(金)	◎中国自動車道の吹田－西宮北間が完全復旧
27(木)	◎阪神間6市長らが上京、震災復興への財政支援を政府に求める要望書を共同で提出
31(月)	◎「中小企業振興事業災害特別資金」「小規模企業振興災害特別資金」の受付を終了 ◎倒壊家屋等災害廃棄物武庫川河川敷仮置場を閉鎖

宝塚市震災ドキュメント

(平成7年1月17日から1年)

あの日・あの時

8月	
1(火)	◎「よみがえれ宝塚・観光花火大会」が栄町1、武庫川一帯で開催(2日も) ◎平成7年度の個人市県民税及び固定資産税・都市計画税について、災害減免の規定の整備を行う。特に固定資産税・都市計画税(家屋・償却資産)においては、減免範囲を拡大し、また、平成6年度第4期配当分についても、減免を行うよう規定した
2(水)	◎市商工会が阪急宝塚駅前など3カ所に復興キャンペーンのPR旗を飾り付ける。復興のシンボル、フェニックスをあしらった「よみがえる きらめきのまち宝塚」の標語入りで8月末まで掲示
4(金)	◎第4回災害弔慰金判定審査会が開かれ、新たに9人(うち1人は他市被災)が震災死亡者と認定。宝塚市内での死者は114人となる。(同判定会での認定者は32人に) ◎県は「阪神・淡路大震災復興計画(ひょうごフェニックス計画)」を最終決定。(2004年度を目標に660事業を盛り込む。総事業費17兆円)
8(水)	◎市内の小中学生高校生が、市長、教育長と市全般について意見交換
11(金)	◎神戸地方法務局が、大震災で被災した県内9市10町の倒壊家屋について職権で滅失登記をすと発表
15(火)	◎義援金第2次配分の追加として、住宅修繕などの助成金交付申請決まる。申請は平成9年度まで受け付ける。
19(土)	◎東洋町の武庫川河川敷で「復興キャンペーン子供カーニバル」を開催。地域の母親や学生ボランティアでつくる「遊びたい」が主催
21(月)	◎市議会震災復興対策特別委員会が開かれ、目標年度を17年度と定めた震災復興計画の事業費に総額3,059億円が必要と市が報告。同委員会は計画実現のため、財政確保など17項目の要望書を県知事に提出
24(木)	◎大阪国際空港騒音対策協議会(11市協)は伊丹市での総会で、大阪空港の防災拠点化を運輸省に要望することを決める。 ◎NTT関西支社が被災者のニーズに合わせた特集ページを掲載した職業別電話帳「阪神・淡路復興支援版タウンページ」の配布をはじめる。
25(金)	◎花のみち周辺地区プロポーザル審査委員会が宝塚駅前(花のみち周辺)地区第二種市街地再開発事業の施設建築物の設計者を特定
26(土)	◎戦後50周年を記念して、平和音楽劇「ガラスの地球」を救え」が栄町のソリオホールで開催。手塚プロダクションなどと協力して企画(～27日)
28(月)	◎「高齢者の孤独死を防ごう」と仮設住宅を巡回している在宅ケアサービス課に属するホームヘルパーが救命訓練を実施
31(木)	◎家財の一時保管場所(清荒神1の国際電信電話元社宅)を返還

宝塚市震災ドキュメント

(平成7年1月17日から1年)

あの日・あの時

9月	
1(金)	◎敬老の日に先立ち、市長が100歳以上の高齢者2人を訪問し長寿を祝福 ◎大震災復興基金 被災者の融資制度等24事業の受付開始
3(日)	◎「宝塚薪能」が市民会館で夜に開催
4(月)	◎業者選定委員会が宝塚駅前(花のみち周辺)地区第二種市街地再開発事業の施設建築物の設計者を特定 ◎平成7年度補正予算を発表。震災関連は総額136億7,900万円で、平成6、平成7年度の震災予算は計534億円となった。 ◎平成6年度の決算概要を発表。18年連続の黒字となったが、震災の影響で歳入、歳出とも伸び率が1%にとどまる。歳入761億1,000万円、歳出735億円、うち震災関連は約55億円
5(火)	◎市議会震災復興対策特別委員会で、市の震災復興計画の概要を発表 計画は平成17年度までの10年間で159事業3,059億円を見込む。 ◎首相の諮問機関「阪神・淡路復興委員会」が震災復興にあたっての「長期ビジョンについての意見」をとりまとめ、村山首相に提出
6(水)	◎「心のふれあう市民の集い」が市民会館で開催
7(木)	◎被災した木造家屋の解体処理が9月末日で修了する見込みで、10月13日で市内2箇所の仮置き場を閉鎖すると発表 解体申し込み 約5,700件、95%が処理済 運びこまれた廃材 トラック延べ10万6,000台、総量約48万トン
8(金)	◎平成7年第4回宝塚市議会定例会が開会
9(土)	◎宝塚青年会議所がソリオホールで「復興支援・創立30周年記念講演」を開催
11(月)	◎定例市議会本会議で、市は固定資産税と市県民税の納期を平成9年から地方税法の標準納期に戻す方針を表明
14(木)	◎市議会総務常任委員会で被災マンションの再建支援事業の概要を公表
18(月)	◎公共工事の業者選定基準を変更。「一般競争入札」をしていた大規模工事のうち、阪神・淡路大震災などの緊急工事については入札参加の企業をあらかじめ選ぶ「指名競争入札」とするなどを決める。
20(水)	◎震災で倒壊した家屋などから歴史資料を救出・保全している「歴史資料保全情報ネットワーク」は、米谷1の旧家から江戸時代の古文書2,753点見つかったと発表
22(金)	◎震災復旧工事入札でのボランティア企業優先指名を中止すると発表
26(火)	◎東京都府中市の小・中学生らの激励の手紙465通が宝塚小学校に届く。
28(木)	◎防災啓発冊子「地震に自信を」市内全世帯に配布(～10月末)
29(金)	◎阪急バスが川西市南野坂の仮設住宅(270戸)と市内雲雀丘の仮設住宅(172戸)の住民向けに、路線バスの運行を開始

宝塚市震災ドキュメント

(平成7年1月17日から1年)

あの日・あの時

10月	
1(日)	◎国勢調査始まる。(～8日)
2(月)	◎ごみの細分別収集がスタート。ごみの減量化と資源化を進めるため3種4分別を6種9分別とした。 ◎災害援護資金、生活福祉資金貸付申し込みを再開(～31日)
3(火)	◎ボランティアグループ「POPパレット」が、女性センターで学んだ広告文字を利用した情報紙「もぎたて情報便」の第1号を仮設住宅に配布
4(水)	◎消防本部は、阪神・淡路大震災規模の地震が発生したとの想定で、抜き打ちの非常招集訓練を実施
5(木)	◎宝塚市議会が国に対し、「大震災に伴う復旧・復興対策に関する要望書」を提出し、支援要請を行った。
6(金)	◎日本馬主協会連合会が、多目的トレーナー消防車を、宝塚、芦屋、伊丹、西宮の各市に1台ずつ寄贈。市役所横武庫川河川敷で贈呈式と性能披露
7(土)	◎山本園芸流通センターで「宝塚植木まつり」開催
9(月)	◎第5回災害弔慰金判定審査会で、新たに3人が震災による死亡と認定。震災死亡者が117人となり、同審査会でこれまでに35人を認定
10(火)	◎スポーツセンターで第42回市民体育レクリエーション大会を開催
11(水)	◎市立看護専門学校がソリオホールで52人を対象に初めての載帽式 ◎震災で被災した子どもたちを励まそうとロシアの「サマンサ合唱団」32人が宝塚、西宮市の学校訪問
12(木)	◎市立逆瀬台ディサービスセンターの完工式を実施。業務は16日から
13(金)	◎震災による廃材・がれきの搬入受付終了。倒壊家屋等災害廃棄物仮置き場(大阪砕石・サングリーン)
14(土)	◎クリーンセンターで「'95リサイクルフェア」開催。約2,000人の市民で賑わう。
20(金)	◎NTTは光ファイバーケーブルを被災地に優先配備すると発表
22(日)	◎震災からの再生をうたった「復興祭」が市役所横武庫川河川敷公園らで開かれ、約8万人が集まる。「たからづか楽市」「'95消費者フェスティバル」「宝塚朝市」の3つのイベントを合わせて実施したもの
24(火)	◎伊丹市内で第84回近畿市長会総会が開かれ、震災による災害復旧事業に対する財政措置や防災対策の充実など国への要望をまとめた議案を採択
26(水)	◎女性センターで「女性と震災をテーマとした宝塚女性フォーラムを開催(～28日)市民から寄せられた震災体験ひとことメッセージ80点を展示
30(月)	◎首相の諮問機関「阪神・淡路復興委員会」が最終報告 災害復興賃貸住宅(約3,800戸)入居募集(～11月15日) ◎宝塚理容師会と美容師会による「震災&美容ショー」がソリオホールで開催。「よみがえる宝塚 きらめきのまち 震災よりの飛翔」がテーマ ◎市議会震災復興対策特別委員会を開催

宝塚市震災ドキュメント

(平成7年1月17日から1年)

あの日・あの時

11月	
1(水)	◎平成7年第5回宝塚市議会(臨時会)が開会 ◎宝塚小学校、宝塚第一中学校、長尾中学校の校舎新築復旧工事始まる。
2(木)	◎オペラアーツ振興財団(東京都小平市)が来宝。「被災地巡回音楽公演」の一環で、オペレッタ「プレーメンの音楽隊」を宝塚第一小学校と売布小学校で上演(以降、延べ19校で上演) ◎都市計画道路宝塚池田線・県道西宮宝塚線(美幸町)から県道塩瀬門戸荘線(高司)の間、約1キロが2車線で共用開始する。
4(土)	◎宝塚(阪神)競馬場の場外馬券販売を再開
5(日)	◎総ての災害に対応できる自主防衛を主眼に、市消防本部が市立丸橋小学校で「消防防災ふれあい広場」を開催、市民ら約2,000人が参加
6(月)	◎被災者50人が福井県武生市の名物行事「たけふ菊人形」展に招待される。
7(火)	◎中筋の八幡神社修復工事始まる。 ◎女性センターのフリースペースに色とりどりの布で作ったヒコバエ見立ての並木が登場。震災犠牲者の鎮魂の願いを込め、センター利用者ら約100人が製作したもの。
8(水)	◎売布地区再開発事業の概要を発表 ◎市都市計画審議会で、宅地化農地約5ヘクタールを生産緑地に変更(再指定)する案を諮問、承認される。震災で緑地の重要性が高まったのが理由
11(土)	◎青少年育成健全育成大会を西公民館で開催。「大震災を体験して」のテーマで中学生によるパネルディスカッション
15(水)	◎関西電力西宮営業所の職員が市内の仮設住宅に寄贈したプランターにパンジーの花の植え替えのボランティア ◎市立病院で消防訓練を実施 ◎市職員の本年度の給与改定見送りを市職員労働組合に提示
16(木)	◎被災者向け災害復興賃貸住宅の初回応募状況まとまる。(県発表) 県全体で募集6,108戸に応募3万6,773人うち、宝塚市営分は102戸に対して508人が応募 ◎県は緊急インフラ整備3ヵ年計画、ひょうご宅地受給3ヵ年計画を公表 ◎大阪でアジア太平洋経済協力会議(APEC開催)
23(木)	◎第三隣保館でボランティアグループ「ライトハウス阪神友の会」が、近くの平井仮設住宅に住む人を招いて炊出し
24(火)	◎お年寄りたちで作っているシルバー劇団「みやこ」が、市立老人福祉センターで震災で被災した老人の問題をテーマにした創作劇「最後の楽園-阪神大震災と老人」を披露
29(水)	◎宝塚、芦屋、西宮の3市長が自治省など4省庁に震災復興事業の国庫補助拡大など財政支援を要望
30(月)	◎午後1位から市役所で大規模消防訓練実施。市職員約570人、西消防職員34人参加 ◎給与改定をめぐり市職員労働組合が時限スト(明石市、伊丹市でも)

宝塚市震災ドキュメント

(平成7年1月17日から1年)

あの日・あの時

12月	
2(土)	◎阪神競馬場が再開
7(木)	◎平成7年第6回宝塚市議会(定例会)が開会
11(月)	◎震災で被害を受けた市庁舎の修繕工事始まる。 総工事費約1億2,600万円。平成8年3月末までに完了 ◎教育総合センターで「子どもを通して見る戦後50年展」を開催(～16日)
12(火)	◎仁川駅前地区再開発事業の現地事務所(鹿塩2)オープン
14(木)	◎大規模な災害時にも機能できる情報網を整備するため、パソコン通信を利用した災害対応総合情報ネットワークと地域防災無線通信の導入を決定 ◎県は国勢調査の速報値を発表 被災地の人口減が約15万人、住民票を残したまま県外へ被災者が6万4,000人を超えているなど 宝塚市 総計 20万2,547人 参考:衆議院小選挙区別人口1/1推計人口20万6,641人 増減△4,094人 53万5,522人
16(土)	◎日本中央競馬会の武豊騎手が阪神競馬場で市に義援金を寄付 ◎市長、市議会議長が政府与党震災合同調査団に陳情
18(月)	◎市長が震災復興にかかる財政支援要望のため自治省等に陳情
20(水)	◎宝塚市ボランティア活動センターがソリオホールで1日ボランティア教室を開催
21(木)	◎北但社会福祉協議会連合会と城崎、出石郡の6町の社会福祉協議会が、仮設住宅8箇所支援のため「青空市」を開催 ◎市議会閉会
27(水)	◎市議会震災復興対策特別委員会開催 ◎平成8年度から3カ年の実施計画を発表 全体で773億1,720万円(81事業)のうち、91.2%にあたる704億8,000万円(46事業)が震災復興事業。安藤忠雄氏設計の温泉利用施設はさらに3年間実施を凍結することに ◎自治省消防庁は震災死者数を6,308人(26日現在)と修正し発表 直接死者だけでなく、震災後に死亡して震災との因果関係が認められて災害弔慰金の支給対象となった「震災関連死者」も含まれる。国が関連死者を災害死と認めたのはわが国史上初めて(内訳:兵庫県6,279人、大阪府28人、京都府1人)

宝塚市震災ドキュメント

(平成7年1月17日から1年)

あの日・あの時

1月	
5(金)	◎村山首相が退陣表明
6(土)	◎市立国際文化センターで「宝塚市外国人市民文化交流協会」が発足式。定住外国人ら約50人参加
8(月)	◎復興公営住宅として建設する(仮称)市営武庫川住宅の着工計画を発表 建設地は美座1丁目、計40戸、1月中にも着工、平成8年3月完成予定。市の復興公営住宅の着工第1弾 ◎平成8年6月着工予定の震災復興市営住宅(中筋山手1)に、アメリカからの輸入木材住宅を採用することを決定。平成9年3月完成予定(姉妹都市オーガスタ市のある米ジョージア州東京事務所を通じて現地業者の紹介を受けていたもの)
9(火)	◎大阪管区気象台が兵庫県南部地震から昨年12月末までの余震活動を発表 観測された余震は無感地震を含め2,361回
12(金)	◎プロボクシングの元WBA世界ジュニアフライ級チャンピオンで、少年時代を市内で過ごした渡嘉敷勝男さんがお見舞いとして寄付
14(日)	◎「祈り そして明日へー1995・1・17を忘れない」(宝塚コーポランテアセンター主催)が宝塚コーポセンター大ホールで開催
15(月)	◎成人式を市内のホテルで開催。避難所生活を送ったタレント間 寛平さんが講演 20歳人口 男1,556人(920人)女1,623人(1130人) 計3,179人(2,050人) 注:()は当日出席者
16(火)	◎教育総合センターで「震災資料展」(~20日) ◎「花のみち周辺地区」の事業計画案の縦覧が、ソリオ2の宝塚駅前再開発事務所で始まる。 ◎市長、市幹部ら8人が震災犠牲者宅へ追悼訪問
	◎アピアホールで危機管理を考えるシンポジウム「市民・企業・行政の役割を問う」を主催(市、まちづくり研究所主催)
17(水)	◎武庫川河川敷で震度7を想定した防災総合訓練を午後1時から実施。自衛隊が訓練に初参加。 延べ1000人、車両130台、ヘリ3期 ◎兵庫県自治体病院間開設者協議会が結んだ「災害初動時相互応援協定」が発効 ◎阪神・淡路大震災犠牲者追悼式典が県公館にて挙行される関連行事として市役所市民ホール、各支所・出張所で記載所を開設 ◎正午より1分間の黙祷を実施 ◎市役所市民ホール横のピロティで、夕方5時15分から市民鎮魂祭「鎮魂太鼓とコーラスの夕べ」が開かれる。 ◎県の災害救援ボランティア「ひょうご・フェニックス救援隊」が発足 ◎宝塚市に寄託された義援金5億5,428万3,000円を兵庫県南部地震災害義援金募集委員会へ送金